

コマンドマイク

HM-195B HM-195GB

1. 付属品/別売品

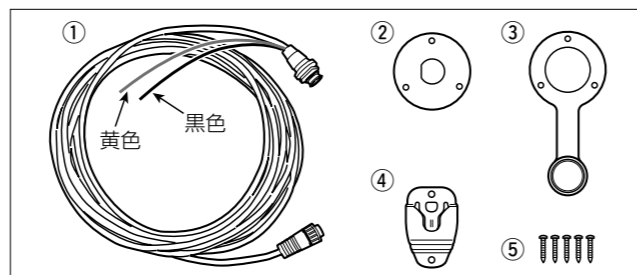
◇ 付属品

- ① 接続ケーブル(OPC-1540 : 約6m)^{※1} 1
- ② 取り付け基台 1
- ③ コネクターキャップ 1
- ④ マイクハンガー 1
- ⑤ タッピングネジ(AO 3×16mm) 5

● 取扱説明書 ①(本書)、取扱説明書 ②、取扱説明書 ③

注1 OPC-1540 には、外部スピーカーに接続するためのリード線(右図参照)があります。(黄色: スピーカー⊕/黒色: スピーカー⊖)

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、IC-M506J/IC-M510J専用のコマンドマイクです。本書では、IC-M510Jを例に、本製品のおもな機能と基本的な使いかたを説明しています。ご使用になる無線機によっては、一部非対応の機能、または画面や機能名、ソフトウェアキーの名称が異なる場合があります。
ご使用の前に、本製品と無線機本体の取扱説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

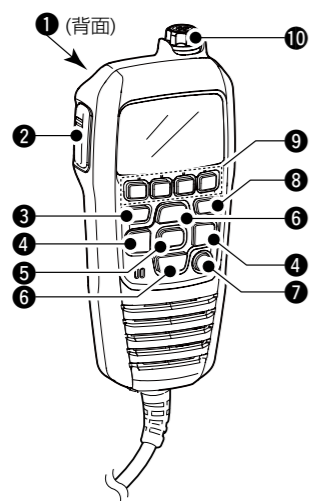


◇ 別売品

OPC-1541 : マイク延長ケーブル(約6m)
※最大2本まで延長できます。

本製品の取り付けかたやご注意については、無線機本体の取扱説明書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

2. 各部の名称

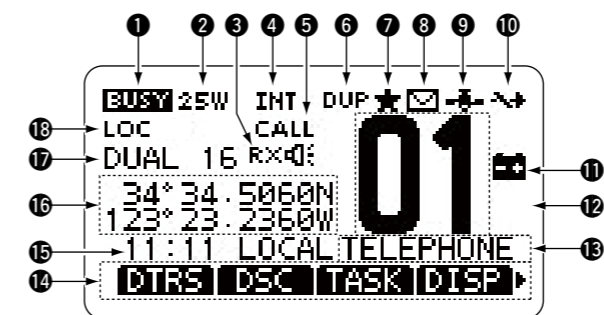


本製品を無線機本体に接続すると、無線機を遠隔操作できます。また、インターカム(船内通話)機能を使用できます。

- ① **DISTRESSキー [DISTRESS]**
保護カバーを上げて、長く(約3秒)押し、DISTRESSコール(遭難信号)を送出します。
- ② **PTTスイッチ [PTT]**
長く(約1秒)押しと送信状態になり、はなすと受信状態に戻ります。
- ③ **MENUキー [MENU]**
MENU画面を選択、または解除するときに押します。
- ④ **左右キー [◀]/[▶]**
○画面下部に表示されたソフトウェアキーの機能を切り替えるときに押します。
○チャンネル名やMMSIコードの設定時、表示された一覧から文字を選択するときに押します。
- ⑤ **ENTERキー [ENT]**
入力内容や選択した項目を設定するときに押します。

- ⑥ **上下/チャンネル選択キー [▲]/[▼]**
○運用チャンネルやMENU項目を選択するとき、または設定を変更するときに押します。
○スキャン中にスキャン対象チャンネルを確認するときやスキャンの方向を変更するとき、またスキャンを手動で再スタートするときに押します。
- ⑦ **チャンネル16/コールチャンネルキー [16/C]**
○短く押し、チャンネル16になります。
○長く(約1秒)押し、コールチャンネルになります。
・コールチャンネル選択時、「CALL」表示が点灯します。
- ⑧ **CLEARキー [CLEAR]**
直前の操作を取り消したり、操作中のモードを終了したりするときに押します。
- ⑨ **ソフトウェアキー**
任意の機能をメニュー画面で割り当てられます。詳細は無線機の取扱説明書をご覧ください。
- ⑩ **ダイヤル**
○長く(約1秒)押しごとに、電源をON/OFFできます。
○電源ON時、短く押し、受信音量調整モードになります。短く押しごとに、受信音量調整モード、スケルチ調整モード、運用チャンネル選択モードを切り替えます。バックライトの調整モードも割り当てできます。詳細は「29. MENU画面」(取扱説明書 ③)をご覧ください。
○回すと、受信音量★を調整します。
★任意の機能をメニュー画面で割り当てられます。

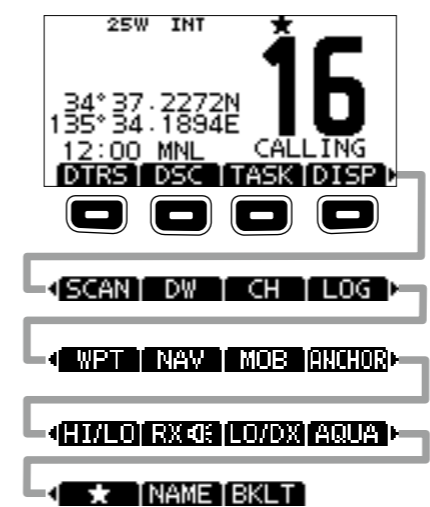
3. 表示部



- ① **送受信表示**
○信号受信中やスケルチが開いているときは、「BUSY」表示が点灯します。
○送信中は、「TX」表示が点灯します。
- ② **送信出力表示**
○Highパワー選択時、「25W」表示が点灯します。
○Lowパワー選択時、「1W」表示が点灯します。
- ③ **RXヘイラー機能表示**
RXヘイラー機能動作時、「RX」表示が点灯します。
- ④ **チャンネルグループ表示**
国際チャンネル選択時は「INT」表示、ウェザーチャンネル選択時は「WX」表示が点灯します。
- ⑤ **コールチャンネル表示**
コールチャンネル選択時、「CALL」表示が点灯します。
- ⑥ **デュプレックス表示**
デュプレックスチャンネル選択時、「DUP」表示が点灯します。
- ⑦ **スキャン対象チャンネル表示**
スキャン対象チャンネル選択時、「★」表示が点灯します。
- ⑧ **メッセージ表示**
未読のDSCメッセージがあるときに「✉」表示が点灯します。
- ⑨ **GPS情報表示**
GPS衛星から信号を受信したとき、位置情報を取得すると、「-」表示が点灯します。位置情報を取得できない場合は、「-」表示が点滅します。
- ⑩ **チャンネル16スイッチ表示**
DSC設定の「CH Auto Switch」をOFFにしているとき、「16」表示が点灯します。
- ⑪ **バッテリー電圧低下表示**
バッテリーの電圧が約11V以下になると、「+」表示が点滅します。
- ⑫ **チャンネル番号表示**
選択された運用中のチャンネル番号を表示します。

- ⑬ **チャンネル名称表示**
選択されたチャンネルの名称を表示します。名称の設定方法は、「10. チャンネル名称の設定」をご覧ください。
- ⑭ **機能表示**
ソフトウェアキーに設定された機能が表示されます。
- ⑮ **タイムゾーン表示**
○GPS衛星から信号を受信、または手動で設定した時刻が表示されます。
・GPS衛星から時刻情報を取得できない場合、「??」表示が約2秒ごとに点滅して、約23.5時間経過すると「NO TIME」表示が点灯します。
・手動で時刻情報を入力した場合、約4時間経過すると「??」表示が約2秒ごとに点滅して、入力後約23.5時間経過すると「NO TIME」表示が点灯します。
○UTC(協定世界時)との時差を設定すると、「LOCAL」表示が点灯します。
○手動で時刻情報を入力すると、「MNL」表示が点灯します。
○GPS衛星からの信号に、GGA、GLL、またはGNSセンテンスが含まれている場合、「UTC」表示が点灯します。
○GPS衛星からの信号に、RMCセンテンスが含まれている場合、「UTC」日付情報表示が点灯します。
○GPS衛星から信号を受信できない状態で時刻を手動で設定していない場合、「NO TIME」表示が点灯します。
- ⑯ **位置情報表示**
○GPS衛星から信号を受信、または手動で設定した自局の位置情報が表示されます。
・GPS衛星から位置情報が30秒以上取得できない場合、「??」表示が約2秒ごとに点滅します。
※最後に取得した位置情報を約23.5時間保持します。約23.5時間経過後は、「NO POSITION」表示が点灯します。
・手動で位置情報を入力した場合、約4時間経過すると「??」表示が約2秒ごとに点滅し、入力後約23.5時間経過すると「NO POSITION」表示が点灯します。
○GPS衛星から信号を受信できない状態で自局の位置情報を手動で設定していない場合、「NO POSITION」表示が点灯します。
- ⑰ **スキャン表示**
○プライオリティスキャン動作時は「SCAN 16」表示、ノーマルスキャン動作時は「SCAN」表示が点灯します。
○デュアルワッチ動作時は「DUAL 16」表示、トライワッチ動作時は「TRI 16」表示が点灯します。
- ⑱ **LOCAL表示**
アッテネーター機能動作時、「LOC」表示が点灯します。

4. ソフトウェアキー



本製品のソフトウェアキーには、さまざまな機能を割り当てられます。設定された機能をソフトウェアキーの上部に表示します。
※ 機能表示の端に◀(または▶)が表示されているとき、[◀]、または[▶]を押すと、ソフトウェアキーの機能が切り替わります。
※ 初期設定では、左図のようにソフトウェアキーに割り当てた4種類の機能が1つのグループとして切り替わります。
※ [DTRS]、[DSC]、[TASK]をほかのソフトウェアキーに変更できません。
※ 表示される機能は、設定により異なります。

5. チャンネル選択

チャンネル16

- ◎[16/C]を短く押すと、チャンネル16になります。
- ◎[CH]を押して、チャンネル16を選択する前の状態へ戻します。ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して運用するチャンネルを選択します。



コールチャンネル

- ◎[16/C]を長く(約1秒)押して、コールチャンネル(初期設定:チャンネル16)を選択します。
- ◎[CH]を押して、コールチャンネルを選択する前の状態へ戻します。ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して運用するチャンネルを選択します。



国際チャンネル

- ① [CH/WX]を押すごとに、ウェザーチャンネルと国際チャンネルグループを切り替えます。
 - 国際チャンネルグループ選択時、「INT」表示が点灯します。
 - ウェザーチャンネル選択時、「WX」表示が点灯します。
 - ウェザーアラート機能ON時、「WX」表示と「🔔」が点灯します。



国際チャンネル(通常画面)



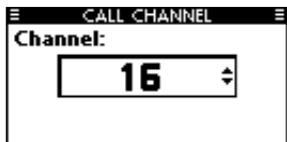
ウェザーチャンネル

- ② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、チャンネルを選択します。
 - デュプレックスチャンネルを選択したときは、「DUP」表示が点灯します。

※ウェザーチャンネルは、無線機が対応している場合にお使いいただけます。ウェザーチャンネルに対応していない無線機では、国際チャンネルだけ表示されます。

6. コールチャンネルの設定

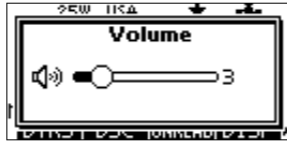
- [MENU]を押します。
- ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、「Settings」を選択します。
- [Radio]を選択します。
- [Call Channel]を選択します。
 - [CALL CHANNEL]画面を表示します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作してコールチャンネルに設定したいチャンネルを選択します。



- [ENT]を押して、コールチャンネルを設定します。

7. 受信音量の調整

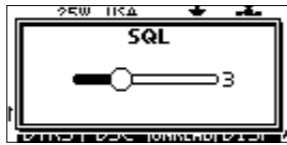
- ダイヤル★を数回押して、受信音量調整画面を表示します。
- ダイヤルを回して受信音量を調整します。
 - 本製品の受信音量は、20段階で調整できます。
 - 受信音量調整画面を表示中、5秒間キー操作がないときは、選択中の数値を設定し、通常画面に戻ります。
- [ENT]を押すと、入力した内容を設定して、通常画面に戻ります。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止して、通常画面に戻ります。



★ダイヤルには、任意の機能を割り当てできます。詳細は「29. MENU画面」(取扱説明書 ③)をご覧ください。

8. スケルチの調整

- ダイヤル★を数回押して、スケルチ調整画面を表示します。
- ダイヤルを回してスケルチを調整します。
 - 本製品のスケルチはOPEN(開放)、またはLEVEL1～LEVEL10から調整できます。
 - ※スケルチの数値が小さいほど、弱い信号でも受信できます。
 - スケルチ調整画面を表示中、5秒間キー操作がないときは、選択中の数値で設定され、通常画面に戻ります。
- [ENT]を押すと、入力した内容を設定して、通常画面に戻ります。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止して、通常画面に戻ります。



★ダイヤルには、任意の機能を割り当てできます。詳細は「29. MENU画面」(取扱説明書 ③)をご覧ください。

9. 送信と受信

- ダイヤルを押して、電源をONにします。
- 受信音量とスケルチを設定します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、チャンネルを選択します。
 - 信号を受信すると、「BUSY」表示が点灯し、スピーカから音声が出力されます。
 - 必要に応じて、もう一度音量を調整します。
- 通信する相手局との距離に応じて、「HI/LO」を短く押して、送信出力を切り替えます。
 - 送信出力を切り替えると、「25W」(Highパワー)表示または「1W」(Lowパワー)表示が点灯します。
 - 近距離通信の場合にはLowパワー(1W)、長距離通信の場合にはHighパワー(25W)を選択してください。
 - チャンネルによっては、Lowパワー(1W)しか設定できません。
- マイクロホンの[PTT]スイッチを押しながら、マイクに向かって話します。
 - 送信状態になり、「TX」表示が点灯します。
 - チャンネル70では送信できません。
- [PTT]スイッチをはなすと、受信状態に戻ります。

マイクの使いかた

マイクと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で話してください。マイクを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

10. チャンネル名称の設定

すべてのチャンネルに、名称を設定できます。
※使用できる文字列は、英字(大文字)、数字、記号(!"#%\$&'()*+,-./[\]^_::;<=>?)およびスペースです。

- 設定するチャンネルを選択します。
- [NAME]を押して、チャンネル名称の入力画面を表示させます。
 - 1桁目のカーソルが点灯します。
- 下記に示す要領で、チャンネル名称を入力します。
 - [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、入力する文字を選択します。
 - [ENT]を押して入力します。
 - カーソルを移動させるときは、「←」、または「→」を選択してから[ENT]を押します。
 - [SPACE]を選択してから[ENT]を押すと、スペースを挿入します。
 - [DELETE]を選択してから[ENT]を押すと、選択している文字を削除します。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止して、通常画面に戻ります。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、「FINISH」を選択します。
- [ENT]を押すと、入力した内容が設定されて、通常画面に戻ります。



11. アクアケイク機能

スピーカ一部分に溜まった水をスピーカの振動により排出する機能です。スピーカ一部分の浸水による音のこもりや音量低下を解消できます。

- [MENU]を押します。
- ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、「AquaQuake」を選択します。
 - [AQUAQUAKE]画面を表示します。
- [AQUA]を長く押します。
 - 押しているあいだ、アクアケイク機能が動作しスピーカ一部分に溜まった水を排出します。
 - 押しているあいだは、受信音量の設定に関わらず、排水のため低いピーブ音が鳴りつづけます。
 - アクアケイク機能動作中は、本製品のキー操作が無効となります。



12. バックライト機能

バックライトを調整すると、暗い場所などでも表示部や各キーが見やすくなります。本製品のバックライトはOFF、または7段階から調整ができます。

- [BKL]を押して、バックライト調整画面を表示します。
- ダイヤルを回して、表示部と各キーのバックライトを調整します。
- [ENT]を押すと、設定して通常画面に戻ります。
 - バックライト調整画面を表示中、5秒間キー操作がないときは、選択中の数値を設定し、通常画面に戻ります。



登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、デュアルワッチ、コマンドマイクは、アイコム株式会社の登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

202112

13. スキャン操作

1. スキャン対象チャンネルの設定

- スキャン対象にするチャンネルを選択します。
- [★]を押して、スキャン対象に設定します。
 - [★]表示が点灯します。
- 選択したチャンネルをスキャンの対象からはずすときは、手順②の操作を繰り返します。
 - スキャンの対象からはずれると、[★]表示が消灯します。

スキャン対象の一括設定について

Radio設定メニューで[Favorite CH]を「Set All Channels」、または「Clear All Channels」に設定することで、スキャン対象チャンネルの一括設定または解除ができます。
(MENU) → (Settings) → (Radio) → (Favorite CH)

2. スキャン操作のしかた

- MENU画面で、プライオリティースキャン、またはノーマルスキャンを選択します。
 - 詳細は無線機の取扱説明書をご覧ください。
- スキャン対象を設定します。
- スキャンの前に、スケルチが閉じているか確認します。
- [SCAN]を押すと、スキャンがスタートします。
 - プライオリティースキャン動作時は「SCAN 16」表示、ノーマルスキャン動作時は「SCAN」表示が点灯します。
 - 信号を受信すると、メニュー画面の設定により、その信号が消えるまでスキャンを一時停止する、または5秒間の停止後スキャンを再スタートします。
 - ※プライオリティースキャン中は、チャンネル16をモニターします。
 - ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作すると、スキャンの対象チャンネルを確認したり、スキャンの方向切り替えや信号を受信して一時停止しているときに手動でスキャンを再スタートしたりできます。
 - プライオリティースキャン中、チャンネル16で信号を受信すると、「16」表示が点滅してピーブ音が鳴ります。
- もう一度[SCAN]を押すと、スキャンを解除します。
 - [CLEAR]を押しても、スキャンを解除できません。



14. デュアルワッチ/トライワッチについて

- MENU画面で、デュアルワッチ、またはトライワッチを選択します。(初期設定: Dualwatch)
 - 詳細は無線機の取扱説明書をご覧ください。
- ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、チャンネルを選択します。
- [DW]または[TW]を押すと、デュアルワッチ、またはトライワッチをスタートします。
 - デュアルワッチ動作時は「DUAL 16」表示、トライワッチ動作時は「TRI 16」表示が点灯します。
 - チャンネル16で信号を受信したときは、ピーブ音が鳴ります。
- [DW]または[TW]を押すと、デュアルワッチ、またはトライワッチを解除します。

